学校番号	1001

令和８年度　芸術科　書道

教科	芸術	科目	実用書	単位数	２単位	年次	2・3年次
使用教科書							
副教材等	令和７年度　硬筆レッスン帳（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書体の特徴を捉え反復練習を行い、書写の実技向上を目指します。
・季節に応じた題材を創作し、書を通して幅広い自己表現を目指します。
・作品を鑑賞することで、感性を豊かにし鑑賞力を身に付けます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

（１）　書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

（２）　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

（３）　主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感受性を高め、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	・美しい文字とその技法を学び、文字を美しく見せるための表現を工夫している。 ・意図に基づいて構想し表現を工夫したり、書の美を味わい捉えてりしている。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感受性を高め、書の伝統と文化に親しみ書を通じて心豊かな生活や社会を創造的に味わう。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	基礎練習	・小筆、ペンで楷書と行書の基本点画を行い書写能力の向上を身に付けている。 ・筆記用具の違いにおける線質・字形・構成等の表現効果について工夫している。	a: 各書体の特徴と用筆・運筆の関りについて理解している。 b: 表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c: 主体的に実用書の創造的な表現活動・鑑賞の活動に取り組もうとしている。	作品 テキスト	学習シート 作品	振り返りシート 観察
	作品制作①	・前期を通し学んだ分野を生かし季節に合わせた作品制作に主体的取り組もうとしている。 ・制作作品について互いに鑑賞し、個性的な表現について味わい捉えたりしている	a: 各書体の特徴と用筆・運筆の関りについて理解している。 b: 目的や用途、表現形式に応じた表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 c: 主体的に実用書の創造的な表現活動・鑑賞の活動に取り組もうとしている。	作品 テキスト	学習シート 作品	振り返りシート 観察 鑑賞
	実用応用	・履歴書、封筒の書き方など、実際に生活の中で実践し表現できるように工夫している。				
後期	発展練習	・長文を整えて書く技能の向上を図るとともに、表現形式に応じた全体の構成と要素を理解する。	a:基礎的な技能をもとに作品を書き表せている。 b: 表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c: 主体的に創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	作品 テキスト	学習シート 作品	振り返りシート 観察 鑑賞
	作品制作②	・年間を通し学んだ書写能力をもとに作品制作に主体的取り組もうとしている。 ・制作作品について互いに鑑賞し、多様な表現について味わい捉えたりしている。	a: 用筆・運筆の関りについて理解している。 b: 表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c: 主体的に実用書の創造的な表現活動・鑑賞の活動に取り組もうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度